

Accessibility in WalkMe (WalkMeのアクセシビリティ)

概要

作成したすべてのWalkMeコンテンツに、特別なニーズや異なる能力を持つユーザーであってもアクセスできることを確認します。ウェブアクセシビリティは、異なる能力を持つ人々によるウェブサイトとのインタラクションまたはウェブサイトへのアクセスを妨げる障害を取り除くための包括的な取り組みです。

WalkMeは、すべての人への平等なアクセス提供の実現を提唱しており、特にウェブのアクセシビリティに関してこの理想を達成しようと常に積極的に取り組んでいます。WalkMeは、実績のあるベストプラクティスに基づき、ウェブアクセシビリティガイドラインの基準に従ってソフトウェアを継続的に開発および改善しています。また、スクリーンリーダーやその他の専門ソフトウェアを使用して、異なる能力を持つ個人が製品を積極的にテストしています。多くの企業は、アクセシビリティに関しては厳しい基準に従う必要があり、WalkMeはこれらの要件を満たすためにソフトウェアを継続的に改善しています。

ユースケース

WalkMeのアクセシビリティ設定を使用すると、以下のことが可能です。

- 一般的なスクリーンリーダーを使用してWalkMeコンテンツを操作する
- 画像の代替テキストを作成する
- 特別なキーボードショートカットを使用してWalkMeコンテンツを操作する
- ARIAラベルを設定する
- キーボードでユーザーが操作するエレメントと、視覚的に表示されるエレメントを変更する

使用方法

WalkMeは、ウェブのアクセシビリティの標準を定義する主要な仕様の1つである[ウェブコンテンツアクセシビリティガイドライン2.1 \(WCAG 2.1\)](#)のAA規格をサポートするよう尽力しています。この標準では、Aの25の基準をクリアする最低基準 (AA) さらに13の基準をクリア (AAA) さらに23の基準をクリアする最高水準) の、3つのレベルの準拠が定義されています。

WCAG標準は、以下の4つの基本原則に基づいて構成されています。

- **パーシナビリティ** — 提供情報がエンドユーザーのいずれかの知覚によって認識されなければなりません
- **操作性** — エンドユーザーはインターフェースを操作できなければなりません
- **理解可能性** — エンドユーザーは提供されている情報を理解することができなければなりません
- **堅牢性** — エンドユーザーは、コンテンツに新しいテクノロジーが組み込まれても、コンテンツに

引き続きアクセスできなければなりません

[WalkMeプレーヤーの自主的な製品アクセシビリティテンプレート\[VPAT™\]を読みます。](#)

スクリーンリーダーの可用性

WalkMeは、市場で最も人気のあるスクリーンリーダーと、その一般的なブラウザの組み合わせに焦点を当てています。

- JAWS + ChromeとInternet Explorer
- NVDA + Firefox
- VoiceOver + Safari

アクセシビリティ機能の有効化

アクセシビリティ機能を有効にするには、カスタマーサクセスマネージャーまたはWalkMeの担当者に連絡してください。